

角蟬科の種名訂正

加藤正世

Correction of a specific name of a Membracid. By MASAYO KATO

Leptocentrus taiwanus nom. n.*Leptocentrus formosanus* Kato, Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, xviii, p. 32, pl. 2, figs. 1, a, b (1928).

種名 *formosanus* は, *Telingana formosa* (Matsumura) の最初の記載に, *Leptocentrus formosanus* Matsumura (Ann. Zool. Jap. viii (1), p. 15 (1912)) として先占されているので上記のように訂正する。

このことについて注意して下さったノースカロライナ大学の Z. P. Metcalf 教授に感謝の意を表す。

ツマグロキゲンセイ本州箕面に産す

木船悌嗣

Zonitis cothurnata Marseul ツマグロキゲンセイは, 従来九州以南の地方より知られ, その後伊豆大島から発見されたが, 同属のキイロゲンセイにくらべて個体数が少なく, 従って採集は容易でない。

しかるに, 筆者が本年8月大阪府下箕面においてキイロゲンセイを観察中, はからずも之にまじって *Zonitis cothurnata* Marseul と同定すべきものを発見採集したのでこゝに報告する。

即ち本年(1954)8月20日に1♀(体長11mm)を, ついで8月22日に同じ場所で1♂(体長8mm)を採集することが出来た。共にイヌザンショウの花で吸蜜中のものであつた。この両日以外はキイロゲンセイのみが見られた。生態からみて余り長距離の飛翔を行わぬ本種のことゆえ, 恐らく定住してはいるものの個体数は極めて少いのであろう。寄主についても今後の調査に俟つべき問題であるがキイロゲンセイと同様蜂類の巣の中で育つものではないかと思われる。

本文を終るに当り, 種々御教示を賜つた林匡夫, 北条俊一の両氏に深く謝意を表す。尙標本は筆者が保管している。又北条氏の過去2年(1950, 1951)及筆者の昨年(1953)の *Zonitis* の標本中には *cothurnata* は1頭も混つていなかったことを附け加えておく。